

1 Jリーグのシーズン移行について

(1) 背景

令和5年12月、日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）から、現行2月開幕を2026-2027シーズンから8月開幕へ移行する旨発表があった。

現在はシーズン開幕前（1月～2月）に沖縄・宮崎等で事前合宿が行われている一方、シーズン移行後は6月～8月が合宿シーズンとなるため、冷涼な気候である北海道及び東北への事前合宿のニーズが非常に高くなっている。

(2) 発表されたシーズン移行の想定

ア 2024シーズン・2025シーズン

2月下旬開幕・12月上旬閉幕（現行通り）

イ 2026-27シーズン（シーズン移行期）

(ア) 2026年2月上旬開幕・2026年5月中旬閉幕（ハーフシーズン）

(イ) 2026年8月上旬開幕・2027年5月中旬閉幕（2027-28以降も同様）

2 北海道夏合宿について

(1) J1数チームから問い合わせがあった際に聴取した要件（詳細は調査中）

ア 競技施設

天然芝1面以上（一定程度の規格が求められる）

イ 合宿人数

50人～70人程度

ウ 宿泊施設

- ・温浴、食事会場が必要なほか、宿泊時はフロア借り上げ
- ・ストレッチルーム等の諸室が必要

エ その他環境

近隣で合宿を行うチームが複数必要であり、プレシーズンマッチが可能な環境が求められている。また、地域との交流事業にも非常に前向きであり、サッカー教室等の実績あり。

(2) 札幌市におけるJリーグ合宿の検討状況

ア 競技施設（候補地）

札幌白旗山競技場（札幌市清田区真栄502）

イ 受入時期

6月から8月（Jリーグ閉幕期間）

ウ その他

合宿の受入に伴い市内の学校や児童会館、サッカー少年団、サッカー部等との交流事業を実施



(3) 令和5年度沖縄県の現状

ア 合宿受入チーム数

24チーム

イ 誘客人数

選手・スタッフ：延べ1,163人（平均宿泊日数：11.8泊13.0日）

観客数：延べ48,365人（うち県外延べ7,030人）

ウ 合宿による経済波及効果

合計 1,191,140千円（受け入れを行った13市町村の平均額＝91,626千円）

（内訳）球団関係者等：539,690千円、観客、メディア：643,630千円

施設使用料：7,820千円

【参考】

1 札幌市が行っている合宿調査事業について

(1) 調査時期

令和6年8月～11月末

(2) 内容

ア 道内市町村への設備等に係る調査

イ Jリーグ60チームへのニーズ調査

ウ 現行合宿受入地域（九州・沖縄等）への経済波及効果等の調査

2 スポーツ振興くじ助成金について

・地域スポーツ施設整備助成

サッカーで使用するピッチの整備に係る事業であり、新設、改設に加え、本事業で整備を行った施設の維持活動事業（新設を初年度として3か年度）への助成